

教科名	フレームワーク1	曜日 時間	金曜日 9:10～15:50	担当者名	小曾川 瑠那
-----	----------	----------	-------------------	------	--------

	前期指導案		後期指導案	
（年 2 間 4 授 回 業 日）	4月	18 25	10月	10 17 24 31
	5月	2 9 16 23 30	11月	7 14 21 28
	6月	6 13	12月	5 12
	7月	4 11	1月	16 23
	9月	5	2月	
方 授 法 業	（ 講義 ・ 実技 ）		（ 講義 ・ 実技 ）	
授 業 内 容	とけたガラスを扱う点において、フレームワークはホットワークと同技法であると考え。しかしながら、用いるガラスと設備が異なるため、素材と技法の違いを体感しながら、フレームワークの魅力を発見する授業を行う。 具体的には、一年を通して各サイズのバーナーとボロシリケートガラスの理解を促し、課題を通してアイデアの創出を図る。授業では毎回アイデアスケッチなどのチェックを行い、適宜参考資料を用いることで、アイデアと思考を深めていく。作品の完成度より、実験的な試みへの態度・発見・展開を重視する。		前期で学んだ素材や技法をベースに、後期は色の使い方（酸化炎、還元炎による色の変化）を習得する。 他技法の併用についても学ぶことで、アイデアと表現の幅を広げると同時に、素材に対する理解度と探究心を深める。 各自のテストピースをクラス内で共有し、ディスカッションをすることで、互いの技術とアイデアを発展させる。 2年次に備え、作品の完成度と展示方法に対する意識を促しておく。	
到 達 目 標	素材の特性と事故防止のための知識を習得することが目標である。		アイデアを立体物におこせる力、自主的に学ぶ力、伝える力を身につけることが目標である。	
成 績 評 価	積極性／技法、機材、課題への関心度と理解度／提出期限の厳守／出席状況		積極性／技法、課題への関心度と理解度／個人の成長度／提出期限の厳守／出席状況	
留 意 事 項	酸素バーナー専用のサングラスが必要。各自購入必須。			